

令和5年度第2回 神奈川 介護施設 ^{プラス} + Safe 協議会

神奈川県労働局では、令和6年2月7日(水)に、神奈川県内に法人本部を置く県内のリーディングカンパニー的な介護施設等を構成員とする「令和5年度第2回 神奈川 介護施設 +Safe 協議会」を開催しました。

この協議会は、介護施設における自主的な安全衛生活動の促進を図り、地域全体の介護施設の安全衛生に対する機運の醸成を推進することを目的として、令和4年8月に設立した組織で、今回、通算4回目の開催となります。構成員は次のとおりです。

- ・株式会社 ツクイ
- ・社会福祉法人 同愛会
- ・社会福祉法人 同塵会
- ・社会福祉法人 県央福祉会
- ・社会福祉法人 伸こう福祉会
- ・社会福祉法人 若竹大寿会
- ・神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 高齢福祉課
- ・神奈川県 健康医療局 保健医療部 健康増進課
- ・横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉部 高齢施設課
- ・川崎市 健康福祉局 長寿社会部 高齢者事業推進課
- ・相模原市 健康福祉局 地域包括ケア推進部 福祉基盤課
- ・社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会 経営者部会
- ・社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
- ・公益財団法人 介護労働安定センター 神奈川支部
- ・中央労働災害防止協会
- ・神奈川産業保健総合支援センター
- ・公益社団法人 神奈川県理学療法士会
- ・神奈川県労働局 労働基準部 健康課

冒頭、当局の加納労働基準部長から、「現在、介護施設では、令和5年においても引き続き労働災害が増加傾向であり、腰痛災害や転倒災害等の作業行動を起因とする労働災害（以下、「行動災害」という。）が全体の約4割を占めている。

このような状況を踏まえ、本日の+Safe 協議会では、効果的な行動災害の防止対策を模索するため、専門の講師をお招きし、研修を2本(内容は後記のとおり)行う予定である。

本日の研修の内容については、当局ホームページ等で介護施設の事業者へ発信し、広めることによって神奈川県内の介護施設における安全衛生に対する機運の醸成を図り、ひいては労働災害の減少を推進して行きたいと考えている。

本日、参加いただいた皆様方においても、研修内容を糧として、自社の安全衛生活動の参考としていただくとともに、機会を通じ、関係各方面に向けて、周知伝達していただくようお願い申し上げます。」と挨拶を行いました。

(当局加納労働基準部長の挨拶)



(協議会開催状況)



(マックス株式会社からの説明状況)



続いて、研修1として、マックス株式会社オフィスプロダクツ営業部第2セクション課長の秋山貴則様から、「安全表示で人づくり」(表示作成機 Bepop (ビーポップ) で安全意識の高い人づくり)として、同社の製品である表示作成機「ビーポップ」の紹介や各社の導入事例等の説明がなされました。

説明においては、単に製品の紹介のみではなく、「ビーポップ」を活用した「安全表示を皆で考える活動」、つまり管理活動ではなく、従業員による自主活動を通じ、「ビーポップ」が従業員間のコミュニケーションツールとなり、従業員どうして作成した安全表示が風景化せず、魂のこもった「見える」安全活動につなげてほしいとの説明がありました。

なお、協議会全体が終了後に、引き続き「ビーポップ」のデモ展示が行われ、「ビーポップ」の実演見学、担当者への質問、及びプリントされた表示物を手に取ってみる等、多くの参加者が関心を寄せていました。

(マックス株式会社からの説明状況)



(マックス株式会社によるデモ展示状況)



最後に、研修2として、移動・移乗技術研究会代表で、神奈川産業保健総合支援センター産業保健相談員の中山幸代先生から、主に北欧で実践されている「持ち上げない移動・移乗介護技術」として、ノルウェーの理学療法士であるペヤ・ハルヴォール・ルンデ氏が提唱している介護技術の3つの原理、①人間の自然な動きを活用する、②荷重と摩擦の原理を用いる、③ポット（転がるコロの上を移動するポット）の原理が各紹介され、ベッド、枕、車いす、スライディングボード、スライディングシート、タオル、シーツ等を利用し、持ち上げない移動・移乗介護の手法が、分かりやすく実演された。

介護とは、単に介助者の腰痛予防だけを考えるのではなく、利用者の自立支援を促し、介助者にも利用者にもやさしくなくてはならないとの説明がありました。

参加者一同、実演する中山先生の周りに車座になって、「持ち上げない移動・移乗介護技術」の研修を熱心に受けていました。

さらに研修終了後も、中山先生に熱心に質問する参加者も見られました。

神奈川労働局では、今後協議会で得られた効果的な災害防止対策を、県内の介護施設事業者に普及促進を図ってまいります。

また、順次、協議会のメンバーを拡大する予定です。

介護施設の事業者におかれましては、労働災害防止に対するご理解とご協力をお願いいたします。

本件問い合わせ先：
神奈川労働局 労働基準部 健康課
(電話：045-211-7353)

(中山先生による持ち上げない介護の実演)



(中山先生による持ち上げない介護の実演)



(中山先生による持ち上げない介護の実演)

